

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37・38	認知症の進行により、徐々に意思疎通がうまくいかず、コミュニケーションをとるのが大変になってきている。そのような状況で、入居者個々がその人らしく、より良い生活ができているのか、また、適切な援助ができているか疑問が残る。	入居者個々に合った最適な介護を提供し、その人らしく、より良い生活が送れるように援助する。	入居者個々の行動や言動をよく観察し、職員間の報告・連絡を密にして、入居者が何を望んでいるのか、また、何が必要なのかを考えながら援助し、その人らしい暮らしができるよう支援する。 (行動一覧表の活用、連絡ノートの活用)	6か月
2	2	地域住民との結びつきは少なく、ほとんど交流ができてない状況にある。	入居者と地域住民との交流を積極的に行う。	新型コロナウイルス感染終息後、町の敬老会への参加やお祭りへの参加等を計画し、交流を図る。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。